

進化する AI×ロボットの最新動向

～国家プロジェクトとロボット企業の戦略～

講師

国立研究開発法人産業技術総合研究所 フェロー 持丸 正明 氏
株式会社 d-strategy,inc 代表取締役／株式会社 Third Ecosystem,inc CEO
東京国際大学 データサイエンス研究所 特任准教授 小宮 昌人 氏

日時 2025年10月20日(月) 午後1時30分～4時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. 少子高齢化時代のビジネスを紡ぐ人間拡張とインターバース 持丸 正明 氏 【13:30～14:40】

少子高齢化による労働人口の減少と介護やリハビリの負担増への対応がビジネスチャンスとなっている。AI・ロボットによる完全自動化だけではなく、AI・ロボットにより人の能力を拡張するアプローチ「人間拡張」が注目されている。特に、人が仮想空間とつながり時空間制約を超えて価値を拡張し、実空間に環流する「インターバース」ビジネスが期待されている。講演では企業との連携事例や国家プロジェクト事例を通じて、最新動向を紹介する。

1. 人間拡張 — 人に寄り添い、人を高める技術。人の状態を測るウェアラブルセンシング、それを分析するデジタルヒューマンツイン、さらに、XR やロボット技術を活用したリアルタイムの介入技術で構成される。
2. XR — VR(Virtual Reality)、MR(Mixed Reality)、AR(Augmented Reality)などを統合した技術分野。仮想空間と実空間のインタフェースを含む。
3. 製造業のサービス化 — センサやデバイス、システムなどを販売するだけでなく、これにサービスを統合して顧客と付加価値を共創するビジネスとして提供しよう製造業が変革していくことを言う。人間拡張によるシステムをそのまま販売するのではなく、それをサービスとして提供し、顧客の情報を獲得して企業の知識価値を高めていく。
4. メタバース — フィジカルな空間(ユニバース)に対して、ネットワーク上に構成されたサイバーな空間である。ヒューマンインタフェース技術により、フィジカル空間のリアルな人の行動はこのサイバー空間内におけるアバターとしての行動として再現される。
5. パーチャルエコノミー — メタバースを活用し、サイバー空間上で新たな価値を共創するだけでなく、その価値をフィジカル空間にも環流させることで産み出させる新しい経済圏。
6. 質疑応答／名刺交換

II. AI との融合 (Physical AI・Embedded AI) で進化するロボティクスとオペレーション

～デジタル・現実世界の接点としてのロボットと、柔軟に変化するフレキシブルロボット・ヒューマノイドロボットへの進化～

小宮 昌人 氏 【14:50～16:00】

AI との融合の中でロボットやロボットを活用したオペレーションの進化が急速に進んでいます。学習に必要な空間データを合成し高速で立ち上げることや、制御コード生成によりフレキシブルに動作を切り替えることが実現しつつあります。これらによりロボットを活用したオペレーションや製造ラインのあり方にも変化が見られるとともに、ロボット企業に求められる戦略も変化してきています。本講演においてはロボットと AI の融合に関して、Physical AI・世界基盤モデルや、Embedded AI、ロボット SLM (Small Language Model) などをキーワードに変化の動向や、企業に求められる戦略等について触れさせていただきます。

1. AI との融合 (Physical AI・Embedded AI) で進化するロボティクスと変化する位置づけ
2. Physical AI を支える世界基盤モデルプラットフォーム (NVIDIA Cosmos / GENESIS 等)
3. AI×ロボット融合で変わるあらゆる産業のフレキシブルオペレーションと、製造ライン
4. ロボット企業側の AI 時代の戦略変化とロボット×SLM (Small Language Model)
5. AI×ロボット融合時代に求められるユーザー企業／ロボット企業の戦略
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 持丸 正明(もちまる まさあき)氏

1993年 慶應義塾大学大学院博士課程 生体医工学専攻修了。博士(工学)。同年、工業技術院生命工学工業技術研究所 入所。2001年 改組により、産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究ラボ 副ラボ長。2018年より、人間拡張研究センター長。2023年にフェロー。専門は人間工学、バイオメカニクス、サービス工学。現在、ISO TC 324 国際議長。内閣府 SIP プログラムディレクター。

PROFILE 小宮 昌人(こみや まさひと)氏

野村総合研究所、産業革新投資機構 JIC-VGI などを経て現職。戦略デザインファームの d-strategy,inc を創業し代表取締役として、生成 AI をはじめとするデジタル化・技術変化の中での企業やスタートアップの DX/ソリューション・イノベーション戦略を支援。また、グローバルでのスタートアップエコシステム連携プラットフォームの Third Ecosystem,inc の代表取締役 CEO として海外・国内のスタートアップエコシステム(VC/CVC/企業/大学/政府機関/スタートアップ)の連携・活性化に取り組む。加えて、東京国際大学データサイエンス研究所特任准教授においてデジタル×サプライチェーン教育とともに、明星大学非常勤講師としてデジタルビジネスやイノベーションについて教育を行っている。近著に『メタ産業革命～メタバース×デジタルツインでビジネスが変わる～』(日経 BP)、『製造業プラットフォーム戦略』(日経 BP)、『日本型プラットフォームビジネス』(日本経済新聞出版社)があり、ビジネス+IT 連載『デジタル産業構造論』、MONOist 等にて Web メディア連載。2024年 11月に生成 AI の産業活用書籍『生成 DX(ジェネレーティブ DX)～生成 AI が生んだ新たなビジネスモデル～』を出版。

- 受講料 各受講方法 1名につき 27,500円(税込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
●お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。 可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。
■ライブ配信について <1>Zoom にてライブ配信致します。 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに お送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。
■アーカイブ配信について <1>開催日より3~5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。 <3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

10月20日(月) 「進化する AI×ロボットの最新動向」 申込日 月 日
貴社名
所在地 〒 ○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□をお入れ下さい。)
□ 会場受講 □ ライブ配信 □ アーカイブ配信
フリカノ 氏名 所属部署・役職
TEL () - FAX () -
E-mail ブロック体でのご記入をお願いします。

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

- E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]
□セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
※上記お申込フォームに、ご郵送先(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓



■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金
■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp
※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 25469-1